

JIS

交流電源用蛍光灯電子安定器－性能要求事項

JIS C 8120 : 2008

(JELMA/JSA)

平成 20 年 10 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小 田 哲 治	東京大学
(委員)	池 田 久 利	IEC/SB1 委員 (株式会社東芝 電力・社会システム社)
	石 塚 昶 雄	社団法人日本原子力産業協会
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	長 田 明 彦	社団法人日本配線器具工業会
	香 川 利 春	東京工業大学
	亀 田 実	社団法人日本電線工業会
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	坂 下 栄 二	IEC/ACOS 委員 (技術協力安全センター)
	佐々木 喜 七	財団法人日本電子部品信頼性センター
	佐 藤 政 博	財団法人電気安全環境研究所
	島 田 敏 男	社団法人電気学会
	高 橋 健 彦	関東学院大学
	千 葉 信 昭	社団法人電池工業会 (東芝電池株式会社)
	鈴 木 篤	社団法人日本電球工業会 (日立ライティング株式会社)
	徳 田 正 満	武蔵工業大学
	中 村 禎 之	社団法人日本電機工業会
	能 見 和 司	電気事業連合会
	飛 田 恵理子	東京都地域婦人団体連盟
	山 田 秀	筑波大学
(専門委員)	安 藤 栄 倫	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.10.20

官 報 公 示：平成 20.10.20

原 案 作 成 者：社団法人日本電球工業会

(〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 TEL 03-3201-2641)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：電気技術専門委員会 (委員長 小田 哲治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 試験上の一般的注意事項	3
5 表示	4
6 一般的使用条件	4
7 始動条件	4
7.1 予熱形安定器のための条件	4
7.2 非予熱形安定器のための条件	6
7.3 始動補助導体及び距離	7
7.4 始動性	7
7.5 陰極予熱特性	7
8 点灯条件	8
8.1 光出力比	8
8.2 入力電力	8
8.3 調光に関する要求事項	8
8.4 ランプ電流	8
9 回路力率	8
10 入力電流	9
11 陰極リード線の最大電流	9
12 ランプ動作電流波形	9
13 可聴周波数におけるインピーダンス	9
14 異常状態の点灯試験	9
14.1 ランプ取外し	9
14.2 始動しないランプ	10
15 実用性加速評価	10
附属書 A (規定) 試験	15
附属書 B (規定) 試験用安定器	18
附属書 C (規定) 試験用ランプの条件	22
附属書 D (参考) 始動条件の説明	23
附属書 E (規定) 調光形安定器の制御インタフェース	26
附属書 F (参考) 製品寿命及び故障率を引用することへのガイド	31
附属書 G (参考) E.4 に規定のデジタル制御インタフェース対応形安定器の試験手順	32
附属書 JA (規定) 入力電流の高調波抑制対策	33